

次年度の島田病院のめざすヘルスケアについて 「質と効率」の追求

島田病院 院長 河崎 収

島田病院の経営指針

毎年、この時期には次年度の経営計画を立案します。医療経営に大きな影響をもたらす政治・経済・社会情勢の動向の分析に始まり、院内的には今年度の計画の成果を検証し、次年度の経営計画を練り上げていきます。

民主、自民、公明3党合意による「社会保障と税の一体改革」や消費税増税問題、TPP参加による医療保険制度や医療システムへの影響、規制改革会議で検討されている混合診療問題、さらに2014年の診療報酬改定など、医療を取り巻く外部環境は大きく変化しようとしています。次年度も外部環境の変化に惑わされることなく、足元を固め「リハビリテーション機能の充実した専門施設として地域の方々から信頼され選ばれる病院を目指す」ことを経営の指針とし、より質の高いヘルスケア・サービスを提供できるよう取り組んでまいります。

理念と現実

私たちの組織には、職員みんなで共有する理念が定められています。私たちはその理念に基づいてヘルスケア・サービスを実践し社会的使命を果たしていくことが求められています。

理念の中には私たちの理想とすべき価値観や夢が込められていますが、理想とするヘルスケアを実現させていくためには、ただ夢を追ってばかりではいけません。事業の継続性を担保し、ヘルスケアの質を向上させていくためにはそれ相応の原資が必要となります。つまり、一定の「利益」がなければ、質向上のための新規投資や新規事業ができないだけでなく、事業を継続することすら危うくなるという厳しい現実と直面しなければなりません。現在の診療報酬は国によって決められており、コストがかかったからといって価格を勝手に引き上げることはできません。

平成22年病院経営実態報告によると自治体病院の85%、私的病院の37.1%が赤字病院となっています。このような厳しい現実を見ると、現行の診療報酬の中で、利益を生み出し、かつ良質のヘルスケア・サービスを提供していくことは容易ではないことが理解できると思います。

理想とするヘルスケアを確実に実現させていくためには綿密な経営手法や経営努力が求められます。それらを一言で言うなら「医療の質と効率の追求」と言うことになると思います。

質と効率の追求

医療現場に「効率」を持ち込むことに抵抗を感じる方々もいるかと思いますが、効率化が進むと質が低下するのではないかと、安全性が損なわれるのではないかと考えてしまうからでしょう。私たちは「質と効率」は両立可能であるばかりか、両立しなければ

ならないものと考えています。限定された診療報酬の中で、質の低下なく顧客価値の高いヘルスケア・サービスを提供し社会的使命を果たしていくためには一定の原資(利益)が必要なことは先ほども述べたとおりです。そのためには経営資源である「ヒト、モノ、カネ」の配分・配置、さらに情報を活かすためのシステムや組織を有効活用していくことが重要です。効率性の追求とは経営資源を無駄なく有効に活用し最大のパフォーマンスを引き出すことに他なりません。

効率性を追求することによって時間やコストの無駄が省かれ、それらを専門的業務や顧客サービスに振り替えていけば、より良いサービスの提供ができるものと確信しています。また無駄の多い作業環境では、情報伝達の混乱や障害、作業の錯綜や重複が発生し、ヒューマンエラーを誘発しやすい要因が増加します。時間やコストの損失だけでなく、医療の安全性にも悪影響を及ぼすこととなります。

効率化の過程ではチーム医療の強化、ICTの活用、情報の共有化、他職種協働(スキルミクス)の推進など多くの課題がありますが、より良いサービスが提供できるよう業務改善に取り組んでいきたいと考えています。

専門職種がその専門領域の業務に集中しやすい環境を創り出し、多職種協働のもと患者サービスの最大化をはかるための経営努力が、効率性の追求であると考えていただければ、効率化に抵抗を感じる方々にもご理解が得られるのではないかと思います。

質の向上を目指して

医療の質向上は、どのような医療機関にとっても極めて重要な課題であり、社会から強く期待されているものだと思います。私たちの施設では、学会や研修会への参加、施設見学などを積極的に支援し職員個々人の自己啓発や能力向上に力を入れています。

「質の向上」は新しい診療技能の習得や習熟だけでなく、医療事故を未然に防止するための安全管理や感染管理もまた医療の質の根幹に関わるものです。多くの医療事故や院内感染の報道が後を絶たない状況がありますが、その対策を徹底することは医療機関としての責務でもあります。当院では医療安全管理委員会、医療安全管理室を設置し、医療事故防止のための対策を講じています。また、43床規模でありながら、ICN(感染管理看護師)2名を擁し、感染管理委員会を中心に感染防止のための管理を徹底しています。

次頁へ続く▶



島田病院

質の検証と情報開示

良質の医療を提供していくためには、適切な臨床指標を選択し継続的にモニターしていくことで質の評価と検証をおこない、質向上に繋げていくことが重要だと考えています。

病院を受診する方々にとっては診療内容や手術件数だけでなく、治療の結果どうなったのかが気になることだと思います。私たちはこれらのデータを集約し、ホームページや広報誌を通じて積極的に情報開示し透明性を高めていく必要があると考えています。

今年度からクオリティ・マネジメント・センター(Quality Management Center)を新たに設置しました。次年度以降、診療の質の検証や質管理の要として重要な役割を担っていくものと期待しています。

島田病院の理念の実現へ

「質と効率の追求」は、病院本位であってはなりません。あくまでも当院を受診される患者のみなさまのニーズに叶い、患者利益に繋がるものでなければならないと考えています。

次年度も「人間愛にもとづく確かな技術と知識により、信頼でつながるチームで安全に心に届くサービスを提供します」という島田病院の理念のもと病院一丸となってヘルスケアに取り組んでまいります。

みなさま方のご理解とご支援をお願いしたいと思います。

平成25年4月1日から外来診療が変更になります

整形外科

平成25年4月1日版

	受付時間	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	8:30~11:00	9:00~12:00	勝田	金田	松浦	島田	松浦	担当医
			佐竹	須川	原	金田	須川	担当医
			原	谷内	勝谷	富原	佐竹	担当医
			初診担当医	勝谷	初診担当医	湊	初診担当医	担当医 (予約のみ)
			初診担当医	湊		初診担当医		
午後(木土)	13:00~15:30	13:30~15:30				金田 (予約のみ) 寺井※第1・3 (予約のみ)	担当医 (予約のみ)	
午後	14:30~17:00	15:00~19:00	島田	松浦	須川		松浦	
			勝田	富原	勝谷		佐竹	
			富原	瀧上	湊		谷内	
			原	初診担当医	橋本		初診担当医	
			初診担当医					

※土曜日午後の予約診療は入院・手術説明のみとなり、一般診療の予約はございません。

ペインクリニック整形外科

	受付時間	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	8:30~11:00	9:00~11:30	担当医 (予約のみ)			担当医 (予約のみ)		
午後	13:30~16:00	14:00~16:30				担当医 (予約のみ)		

膝タナ障害のリハビリテーション

膝蓋骨(しつがいこつ:お皿の骨)の周囲に痛みを感じた経験があるでしょうか?膝の前面が痛い場合には、痛む場所によってさまざまな原因が考えられます。(図1)その中で、膝の曲げ伸ばしの際、膝蓋骨の内側に引っ掛かりや痛みや症状がある場合、「膝タナ障害」の可能性がります。膝タナ障害は、膝前面痛全体の5%程度とされています。

膝タナ障害とは

『タナ』とは、膝関節を包む膜の一部で、棚のように張り出してみえることからこのように呼ばれています。(図2) このタナが膝蓋骨と大腿骨(だいたいこつ:太ももの骨)の間に挟まれたり、こすれたりすることで炎症を起こし、痛みや引っ掛かりの症状が出た状態を「膝タナ障害」といいます。悪化すると関節の軟骨が傷み、日常生活やスポーツ動作に支障をきたすこともあります。

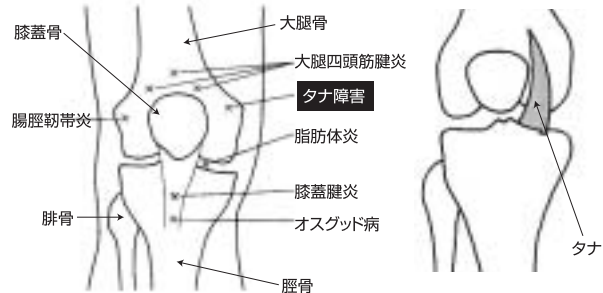


図1 膝前面痛(右膝)

図2 タナの位置(右膝)

※タナの形状や大きさには個人差があります

原因(例)

タナは本来柔らかいものですが、サッカーやバスケ、バレーのジャンプ動作やストップ動作、階段昇降や立ち座りの繰り返しなどの疲労の蓄積によって硬くなります。さらに、誤った踏み切りや着地動作など、偏った身体の使い方によって膝に負担が集中してしまうことが原因になることが多くあります。

チェック方法(例)

ご自身のしゃがみ込み姿勢をチェックして、膝への負担が大きいかを確認してみましょう。鏡を利用したり、ご家族やチームの方にみていただくとよいでしょう。(図3)

※片足が難しい場合は、両足で試して下さい。

どちらの姿勢の方が、膝や身体全体が安定しているか、確認してみましょう

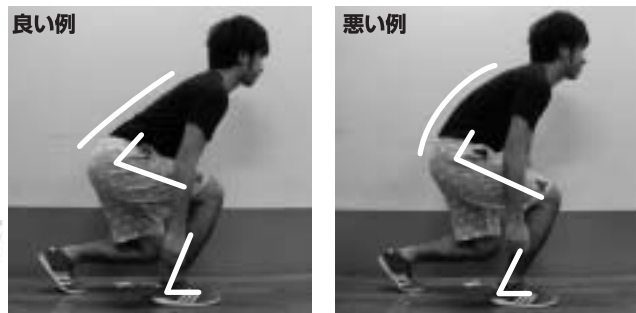


図3 ネコ背にならないように、足首と股関節を十分に曲げて姿勢を安定させます

対策(例)

「安静にしていても痛い」「明らかに腫れている」などの症状がある場合は、炎症が強い可能性があるため、痛みの強い動作を制限したり、膝の内側を氷で冷やすなど、炎症を軽減させることが必要です。

運動療法(例)としては、膝関節への負担を和らげるための柔軟(①②③)や身体の使い方を改善するような動作練習(④)を行います。

①お皿の動きをよくする運動



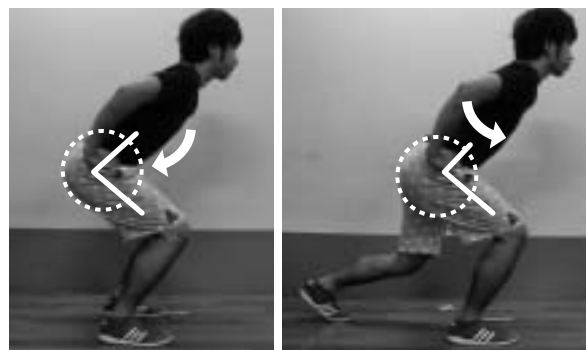
膝を伸ばした状態で太ももの力を抜き、お皿を上下・左右へ動かします。

②柔軟(太もも前面)



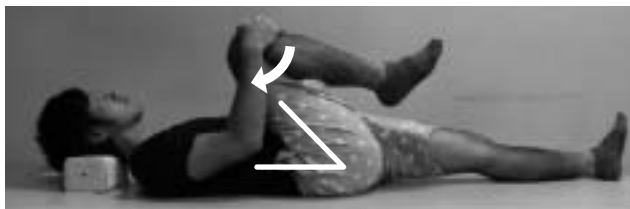
身体を直立させて、膝を後方へ引くように足全体を引っ張ります。(20秒保持×3回)

④動作練習 スクワット 踏み込み動作



膝だけが曲がり過ぎないように、脚の付け根(股関節)もしっかり曲げるようにします。ネコ背にならないことも大切です。(10~20回)

③柔軟(お尻の筋肉)



片膝をやや内側方向へ抱え込みます。反対の膝が浮いてこないように注意して下さい。(20秒保持×3回)

ご注意

強い痛みや腫れなどの症状は、タナ障害以外に原因がある可能性があります。症状が続く場合は無理をせず、医療機関へ受診されることをお勧めします。

はあとふるグループ 使命

私たちは、良質のヘルスケアサービスを効率よく地域の方々に提供し続けます

はあとふるグループ 理念

私たちは、その人がその人らしく自分の人生を全うすることを Warm Heart:心 Cool Head:知識 Beautiful Hands:技術 で支援します

島田病院 理念

人間愛にもとづく確かな知識と技術により、信頼でつながるチームで、安全に、心に届くサービスを提供します



便秘のおはなし

～自分にあった対策で快便ライフを目指しましょう♪～

入院患者さまを対象に食事や栄養に関して関心のあることは何かを調査したところ、「便秘解消の食事」をあげる方が多くいらっしゃいました。入院中に、環境の変化も加わる為か便秘に悩む患者さまを多く拝見します。今回は「便秘」について取り上げたいと思います。

便秘とは

単に毎日排便がないと「便秘」という訳ではありません。また何日出ていないと「便秘」という明確な定義もありません。便が長い間、腸の中にとどまっていて排泄されず、不快な状態を「便秘」といいます。お腹が張る、食欲がなくなるなど直接的に感じる苦痛以外にも実は体にはよくないことをいろいろ引き起こしています。理想は1日1回朝食後バナナ1～2本分の便がスムーズにできることです。

まずは便秘のタイプを知ろう

一次の項目にあてはまるものにチェックしてみましょう

- 1.便秘になったり、下痢になったりする。
- 2.ウサギの糞のような小さいコロコロ便。
- 3.辛い物や冷たい物を食べるとお腹が痛くなる。



けいれん性便秘 (不安定タイプ)

腸を刺激する食品を避けましょう。過労や睡眠不足、不規則な食事時間や排泄時間などの生活習慣を見直すことが大切です。

- 1.朝、トイレに行く時間がない。
- 2.家のトイレ以外で便をしようと思わない。
- 3.出るときは大きなコロッとしたかたい便。



直腸性便秘 (出口詰まりタイプ)

まずは、朝の便意を呼び戻すために、朝食をしっかり食べ、毎日決まった時間にトイレに入りましょう。

- 1.お腹が張って苦しくなる。
- 2.便意はあるがなかなか出ない。
- 3.腹筋ができないまたはつらい。



弛緩性便秘 (中詰まりタイプ)

腸に刺激をあたえるために、朝目覚めたら、コップ1杯の冷たい水か、牛乳を飲むこと、もしくはヨーグルト食べることを習慣にしましょう。

どの便秘も、便の量を増やしてやわらかくするために、**食物繊維(海藻・果物・きのこ・こんにゃく等)と水分をたっぷり摂る**ことが大切です。

多くの便秘は食べ物で治すことができる代表的な症状です。薬に頼る前にまずは食習慣を見直してみることをおすすめします。まずは食物繊維をしっかり取るために海藻類のおかずを必ず1品つけることから始めてみて下さい。食事は薬ではありませんので速効性はありませんが、できることを根気よく続けていくことが大切です。すぐに効果がなくても5日程度は続けてみましょう。

環境が変わったり、肉や魚が多く野菜が少ない食事が続くと、一過性の便秘になったりすることもあります。慢性便秘にならないようにするためには日頃の食習慣を見直してみましょう。